

室蘭市ごみ処理・リサイクル事業あり方検討委員会について

1. あり方検討委員会設置の経緯

市では、将来的な人口減少に伴う市税収入への影響が予測されるなか、公共施設の老朽化対応など、市の財政運営にとって今後も厳しい状況が見込まれているため、「室蘭市行政改革プラン」に基づき、各種事務事業の見直しを行っています。

ごみ処理・リサイクル事業についても、平成30年12月に「室蘭市行政改革プラン2016」の「事務事業の構造的見直し」として「ごみ処理・リサイクル事業の全体的な見直し」の項目が追加されました。

これにより、新たなごみ処理施設の整備にあわせて、収集運搬を含めたごみ処理やリサイクル事業のあり方について、歳入歳出両面から将来にわたって持続可能な仕組み作りを検討するため、令和元年に「室蘭市ごみ処理・リサイクル事業あり方検討委員会」を設置し、ごみ処理・リサイクル事業の課題解決に向けて検討を行うこととしました。

令和4年3月策定の「室蘭市行政改革プラン2022」においても、令和18年度までの長期的な傾向として一般財源が約30億円減少するなど、収支不足の増加が見込まれるとして、「財政基盤の強化」や「効率的な行政運営」につながる取り組みにより、持続可能な行政運営の実現を目標としています。

「ごみ処理・リサイクル事業の見直し」については、「その他財政基盤の強化」として、「検討委員会で示された各種取組を着実に進めることで、持続可能なごみ処理・リサイクル事業の構築を図る」こととしています。

2. 検討委員会

(1) 検討経過

| 回 | 開催年月日 | 人数 | 検討議題等 |
|-----|-------------|-----|--|
| 第1回 | R1.6.28(金) | 12名 | ごみ処理・リサイクル事業検討委員会、ごみ処理・リサイクル事業の現状と課題（収集運搬や処理費用、ごみの排出量、収集作業員の確保） |
| 第2回 | R1.10.15(火) | 12名 | 市民アンケート調査結果、ごみ処理・リサイクル事業概要、他都市との比較 |
| 第3回 | R1.12.19(木) | 10名 | プラスチック製容器包装の資源化、西いぶり広域連合負担金、ごみ処理・リサイクル事業の見直し案 |
| 第4回 | R2.2.25(火) | 10名 | ごみ処理・リサイクル事業の見直し案、一般廃棄物の処理フローとコスト、「危険ごみ」区分新設 |
| 第5回 | R2.8.21(金) | 9名 | ごみ処理・リサイクル事業の見直し案、一般廃棄物処理基本計画の中間見直し |
| 第6回 | R2.11.27(金) | 11名 | ごみの減量推進（食品ロス削減、使用済小型家電、事業系ごみ）、既存事務事業の見直し（危険ごみ、プラスチック製容器包装分別収集）、手数料の適正化 |

| | | | |
|------|-------------|----|--|
| 第7回 | R3.2.22(月) | 9名 | ごみの減量推進、既存事務事業の見直し、プラスチック製容器包装分別収集、ごみ処理手数料の適正化、廃棄物処理事業に関わる今後の見通し、一般廃棄物処理基本計画の中間見直し |
| 第8回 | R3.4.15(木) | 9名 | ごみ処理手数料の適正化に係るコスト算定結果、廃プラスチックに係る国の施策等、食品ロス削減推進計画の審議 |
| 第9回 | R3.7.14(水) | 9名 | ごみ処理手数料適性化(案)に関する市民説明等、プラスチック製容器包装分別収集事業の見直し、食品ロス削減推進計画骨子(案)、ごみステーション集約方針と新設抑制 |
| 第10回 | R3.11.24(水) | 7名 | 廃棄物の減量・リサイクル及び適正処理等に関する条例の一部改正、収集地区再編案、ごみステーション集約方針 |
| 第11回 | R4.9.1(木) | | 食品ロス削減推進計画(素案)、ごみ処理・リサイクル事業あり方検討の中間まとめ |

3. ごみ処理・リサイクル事業の課題

(1) ごみ処理費用の増加

- ・人口減少とともにごみ量は年々減少しているが、焼却施設における保守管理費用等の増により、ごみ処理費用は増加している。

(2) ごみの減量化やリサイクルがすすんでいない

- ・広報紙やホームページなどで啓発に努めてきたが、一般廃棄物処理基本計画の目標値とのかい離が生じている。

(3) 収集作業員の確保

- ・祝日の収集作業などの勤務環境を理由に収集作業員として若年者が定着せず、将来的な収集業務体制の維持が困難になる恐れ。
- ・ごみステーションが年々増加し、収集作業員の負担増の要因となっている。

4. 今後のごみ処理・リサイクル事業の主な見直し等予定項目

- (1) 食品ロスの削減推進と食品廃棄物の減量(家庭系及び事業系)
- (2) 事業系一般廃棄物の減量
- (3) ごみステーションの集約(再配置)

5. 今後の検討スケジュール（予定）

| 開催時期等 | 協議内容 |
|----------------------|----------------------|
| 第13回検討委員会（令和5年2月予定） | ・ごみステーション集約方針（方向性）など |
| 第14回検討委員会（令和5年5月予定） | ・ごみステーションの集約案など |
| 第15回検討委員会（令和5年8月予定） | ・事業系一般廃棄物減量の取り組みなど |
| 第16回検討委員会（令和5年11月予定） | ・ごみステーション集約の取り組み状況など |

※時期、内容ともに今後精査するため、実際とは異なる場合があります。

課題解決に向けた検討項目と取り組み等

(1) ごみの減量推進

| 項目 | 取り組みの方向性 | 実施した取り組みなど | 検討等の状況 |
|--------|---|---|------------------------------------|
| ①周知啓発 | 広報紙やホームページ、Twitter、Facebook、LINE などのあらゆる媒体を活用して、ごみの減量やリサイクルに関する情報を提供し、市民のごみ減量に関する意識啓発を行う。また、出前講座による市民周知に積極的に取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・R3.4 LINE 自動分別案内運用開始 ・出前講座を随時実施 | 引き続き検討 |
| ②生ごみ | 家庭系ごみの約 2 割を占める食品ロスの削減に向けて、他都市の取り組み等を参考に、フードドライブ等のイベントや食育の推進など、他部署と連携しながら全庁的に取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・R2.11 食品ロス削減推進庁内連絡会議設置 ・R2 以降、10 月「食品ロス削減月間」にフードドライブ実施 ・R4.5 生ごみ処理機等購入助成受付開始 ・R4.9 食品ロス削減推進計画（素案）を議会民生常任委員会に報告 ・R4.10 同素案へのパブリックコメント実施 令和 4 年度中に計画策定（予定） | 検討 ⇒食品ロス削減推進計画に記載した施策の取り組み状況を報告 |
| ③古紙類 | 古紙類の分別収集の促進に向けて、資源回収団体不在地域での回収団体の増加に取り組むとともに、回収量増加に向けた効果的な情報提供等によりリサイクルへの誘導を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・資源回収団体不在地域で町内会への集団回収実施の呼びかけ ⇒ 実施には至っていない | 取り組み継続 |
| ④小型家電 | 街頭啓発等の各種イベントでの臨時回収所設置や、回収量増加に向けた効果的な情報提供等によりリサイクルへの誘導を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・R2.9 室蘭工業大学生協同組合パレットに回収ボックス設置 ・R2.12 リネットジャパンと協定締結し宅配回収サービス開始 ・小型家電臨時回収（水族館、室蘭工業大学生協同組合パレット） ⇒ 今後も継続して実施する予定 | 完了 |
| ⑤事業系ごみ | 一般廃棄物の約半数を占める事業系ごみの減量に向けて、紙類などの排出動向の把握に努め、ごみの減量に関する情報提供など排出量削減に向けた取り組みを行う。 | ※次回以降の検討委員会で引き続き検討 | 検討 ⇒減量方法のほか、処理費用負担のあり方などを検討 |

(2) 既存事務事業の見直し

| 項目 | 取り組みの方向性 | 実施した取り組みなど | 検討等の状況 |
|-------------|--|--|--------------------------------|
| ①収集地区再編 | 収集運搬の効率化に向けてごみ量の偏りを平準化するため、収集地区を再編する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・R4.4 収集地区再編を実施 ⇒日ごとの収集量を平準化 ⇒燃やせないごみの収集日を水曜日に集約（8→3 地区に再編） ⇒資源物の土曜日収集を廃止（9→8 地区に再編） ⇒PanasonicITS との連携（日報の電子化、収集の助け合い） | 完了 |
| ②収集頻度等の見直し | 収集作業の負担軽減を図るため、祝日の収集休み導入に取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・R3.4 危険ごみ（スプレー缶類、ライター類、電池類）分別収集開始 ・燃やせるごみの祝日収集を廃止（R4：7日間） ※ハッピーマンデーを除く ・R4.4 資源物の収集を月 2 回から隔週に変更 ※R4.7.12 メルトタワー 21 で火災発生 | 完了 |
| ③ごみステーション集約 | 収集業務の効率化及び収集作業の負担軽減のため、個人設置のごみステーション等を集約する。なお、集約の実施にあたってはごみ出し困難者への対応について町内会等を協議する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・R3.12 市内町会・自治会にアンケートを実施 ・R4.4 ごみステーションの設置、清潔保持等に関する要綱制定 ・R4 年度中に集約方針を策定予定 | 検討 ⇒集約の方向性、集約案、集約に係る費用などを検討 |

| | | | |
|--------------------------|---|----------------|----|
| ④プラスチック製容器包装 分別収集の見直し | 費用対効果、収集運搬作業員の確保、CO2 排出量について総合的に判断し、令和3年度末で事業を廃止する。 | ・R4.3 末で分別収集廃止 | 完了 |
|--------------------------|---|----------------|----|

(3) 手数料の適正化

| 項目 | 取り組みの方向性 | 実施した取り組みなど | 検討等の状況 |
|------------------|--|---|--------|
| ①ごみ処理手数料の 適正化 | ごみの減量や収集運搬業務の効率化など、ごみ処理費用の削減に取り組んだうえで、ごみ処理手数料の適正化を検討する。 ⇒ 新中間処理施設に要する費用や、ごみの減量・リサイクル推進への取り組みの効果額を考慮し、手数料の適正化に向けてコスト算定を行う。 | <p>・R4.4 ごみ処理手数料改定（2円⇒3円/ℓ）</p> <p>【市民説明等】 R3.6～市内5会場で説明会開催（参加人数 延69名）、 YouTubeに説明動画を掲載、市ホームページで意見を受け付け</p> <p>【指定ごみ袋等変更内容】 指定ごみ袋： 可燃・不燃共通で白色半透明、厚さ変更、企業広告導入 ごみ処理券：緑色</p> | 完了 |